

平成29年度 シラバス (総合実習)

学番 78 新潟県立海洋高等学校

| | | | | | |
|---------|--|-----|------|----------|----------------|
| 教科 (科目) | 水産 (総合実習) | 単位数 | 2 単位 | 学年 (コース) | 3 学年 (海洋技術コース) |
| 使用教科書 | 漁業 (海文堂出版株式会社 発行) / 航海・計器 (海文堂出版株式会社 発行) 船舶運用 (海文堂出版株式会社 発行) | | | | |
| 副教材等 | 救命講習用教本 (財団法人海技教育財団) 消火講習教本 (財団法人海技教育財団) レーダー観測者講習用、レーダー・自動衝突予防援助装置、シミュレータ講習用教本 (財団法人海技教育財団) | | | | |

1 学習目標

水産や海洋の各分野のうち、主に海洋漁業分野に関する総合的な知識と技術を習得させ、安全を重んじ技術の改善を図るとともに、実務に活用する能力と態度を育てる。

2 指導の重点

海上における生産の諸活動に従事する者に必要な能力と態度を育てるため、

- ①小型船舶の操縦に関する知識と技術を取得させ、安全かつ適切な操船を行う能力と態度を育てる。
- ②漁業乗船実習を通して、安全で規則正しい船内生活に慣れさせるとともに、漁船運航と漁業生産に関する総合的な知識と技術を習得させ、生産技術の改善を図る能力と態度を育てる。
- ③ロシア・ウラジオストクにおいて、水産・海洋関連施設等の見学、関連学校との国際交流活動などを行い、国際理解、国際協調の精神を育てる。

3 学習計画

| 月 | 単 元 名 | 教材 | 学習活動 (指導内容) | 時間 | 評価方法 |
|---|--------------|----------|---|--------|----------------------|
| 4 | ○小型船舶の取扱 | 小型船舶の取扱い | ○小型船舶の運航の安全を確保するために必要な操船技術のうち、小型船舶の取扱い方法についての知識と技術を身に付ける。 | 4 6 | 授業の取組 各時間の課題・レポート |
| 5 | ○国際交流航海実習 | 国際航海 | ○国際理解を深めると共に、水産業を取り巻く国際環境や水産貿易および海外の水産事情を理解する。 | 8 | |
| 6 | (漁業乗船実習) | マグロ延縄実習 | | | |
| 7 | ○海技免許講習 (救命) | 救命講習 | ○水中への飛び込みおよび救命いかだへの乗り込み等非常事態においてとるべき動作を身に付ける。 | | |
| 9 | ○海技免許講習 (救命) | 消火講習 | ○救命設備および艀装品の取扱いについて理解する。 | | 授業の取組 各時間の課 |

| | | | | | |
|---------------------|---------------------------------------|-----|---|-------------|----------------------|
| 9 10 11 12 | ○海技免許講習 (消火) | | ○火災の性質や消火設備について理解する。また、持ち運び式消火器の取扱い、消火剤の充てん、消火方法について技術を身に付ける。 | 4 10 | 題・レポート |
| 1 2 | ○海技免許講習 (レーダ・自動衝突 予防援助装置シミュレータ) | レーダ | ○レーダ・自動衝突予防援助装置シミュレータの装置の概要や作動原理を理解する。他船をプロットングし情報解析する技術を身に付ける。 | 14 | 授業の取組 各時間の課題・レポート |

計 64 時間 (55 分授業)

4 課題・提出物等

- 授業で配付したプリントおよび課題
- 長期休業中の課題、ノート

5 評価規準と評価方法

| | | | |
|---|--|---|--|
| 評価は次の4観点から行います。 | | | |
| 関心・意欲・態度 | 思考・判断・表現 | 技能 | 知識・理解 |
| ○海技免許講習において各項目に関して関心を持ち、積極的に行動できる。 | ○海技免許講習の実践後に報告、発表という一連の過程を通じ、学習に対して考え、成果を正しく判断し表現することができる。 | ○海技免許講習において、各項目の取扱いに関する基礎的な技術を身につけて、的確な操作をすることができる。 | ○海技免許講習において、各項目の取扱いに関する基礎的な知識を身につけている。 |
| <p>以上の観点を踏まえ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○授業への取組状況（授業態度、出席状況、発表、学習参加状況など） ○提出物（レポート、プリント、ノート）の内容及び期限の厳守 ○小テスト（実技を含む） ○自己評価 <p>などから総合的に判断します。</p> | | | |

6 担当者から一言

一級小型船舶操縦士免許、各免許講習においては知識と技術が一定のレベルになるように頑張りましょう。また、乗船実習では海上での実習は、誤った判断をすると大きな事故につながります。いつ何時でも緊張感をもって実習に臨み、指示は最後までしっかり聞き、安全な実習を行うよう心がけましょう。ロシアでの国際交流で、国際的視野を広げましょう。

担当 平田寛、新井清久、斎藤ゆかり、岩谷和彦

